

テーマ「誤作動」

科学技術の発達により、人工知能（AI）を持ったロボットや機械が開発され、車までもが自動運転になりつつある。パソコンや携帯、家電製品など、身の回りには、電子機器で溢れている。これらはすべて、決められたプログラムと正確な配線と定格動力の供給があるが、はじめて正常に作動し、それを人が操作できる。機械に不具合が生じても、動力の供給が途絶えても人が操作を誤っても問題である。つまり、誤作動により、危険が生じることがあるということである。人の体も同じで、脳の知能により、複雑な全身の神経回路によるネットワークと、心臓から送りだされる動力によって行動しているが、一度、どこかで誤作動が起こるとたちまち病気を引き起こし、正常な機能が保てなくなってしまう。特に、人は機械と違い、全く新しいものに取り換えるという訳にはいかない。現在、人の寿命は、だいたい80～90年、その間休まず心臓は動き、脳からの指令を神経により伝え、体を使う。そして、内臓もそれぞれの役割を果たしていく。特に今は、急速に情報量が増え、考え処理する情報が多いため、脳が休めていない状況が目立っている。あまりその状況が続いてしまうと、誤作動により病気を引き起こしてしまいます。特に脳は、車でいうとコンピューター制御の部分であり、暴走しないようコントロールする役割なので、誤作動を起こすと正常な行動がとれなくなり、社会生活には大きな支障を来してしまいます。誤作動を起こさないようにするために、予防と養生が大切です。寒い時には、よく身体を温めてから動きだし、暑い時には、オーバーヒートしないように水分をしっかりと取る。バランスのとれた食事で内臓の働きも良くなり、適度な運動により骨と筋肉が強くなる。誤作動が起ってしまい、身体のシステムが狂い始めてからでは、遅いのです。定期健診や人間ドックなども大切ですが、シンプルに、今どこか、からだに不調は起きていないだろうかという確認として、はり灸を受けて頂くといいのではないかと思います。はり灸治療は、からだを治すことはもちろん、病気にならない身体作りとしても有効です。脳の誤作動を未然に防ぎましょう。

